



特集

活躍しています！若手農業者

interview

北館 大祐 鈴木 和明

町は、45歳未満で新規就農する人を「認定新規就農者」として認定し、関係機関と連携しながら、施設・機械等の導入支援や栽培指導等を行っています。
今回は、非農家からピーマン栽培で新規就農した二人に話を伺いました。

岡 農林課（内線 2236）



北館 一緒に働いてくれる従業員が働きやすい環境を整え、出勤・退勤時間を自由に選べる経営を進めていきます。また、SNSを使った広報活動を積極的に行い、農業の魅力伝えていきます。私は、農協に出荷できない不揃いのピーマンを横浜駅で売っています。横浜駅でピーマンを買ってくれるお客さんに、ピーマンの栽培状況をライブ

——今後の活動や目標を教えてください。

自分がきちんと栽培管理すると、その分結果として自分に返ってくるのが農業の魅力です。ピーマン嫌いの子もたちが食べられるように、苦みが少ないピーマン栽培を目指しています。



Profile

かずあき
鈴木 和明さん（37）

盛岡市出身、三ヶ尻在住。就農前は盛岡市の飲食店で勤務。平成31年に施設ピーマン栽培で就農。ピーマンのおいしい食べ方は、ザク切りにし塩コンブと一緒に炒め、最後にごま油を少し入れること。

Profile

だいすけ
北館 大祐さん（39）

宮古市出身、奥州市在住（ほ場は町内）。就農前は神奈川県で16年間八百屋を営む。2年間の研修を経て、ことし施設ピーマン栽培で就農。農福連携にも取り組む。ピーマン嫌い。



——就農したきっかけを教えてください。

北館 神奈川県で八百屋を営んでいる時に農家に興味を持ちました。離婚をきっかけに農家になろう！と思い、生まれ故郷である岩手県にUターンを決意しました（奥州市に親戚がいたため）。八百屋を営んでいた時は、いかに野菜を安く買うかばかり考えていましたが、そのことに疑問を感じ、自分で農産物を栽培、販売してみたいと考えました。

鈴木 結婚を機に、妻の実家がある金ヶ崎町三ヶ尻で就農しました。岩手ふるさと農協の「農業マイスター制度」を利用して、奥州市水沢のピーマン農家で研修した後、新規就農しました。



配信で発信する取り組みも行っています。

鈴木 3、4年後に、義父からピーマン以外の品目の栽培を引き継ぎ、農業経営できればと考えています。春はアスパラガス、夏はピーマン、冬はしいたけと年間を通じて所得が得られる農業経営を目指していきたいです。

——新規就農者支援に関する要望などがありますか。

北館 就農一年目にしっかりと販売額を確保するために、研修期間中にハウスや機械を導入する補助があればよいと思います。そうすることにより、スムーズな栽培規模拡大、経営の早期安定が図られると思います。

鈴木 機械購入の補助があれば



——農業の魅力・ピーマン栽培のこだわりを教えてください。

北館 子どもを育てているので、自由に時間を決められることと自然を感じながら仕事ができることに農業の魅力を感じています。また、全ての責任で仕事ができるため、とにかくやるしか無い！と感じています。私は昔からピーマンが嫌いです。自分でも食べられるピーマンを栽培するため、化学肥料を使用しない方法で栽培しています。苦くないピーマン栽培を目指しています！特に「土作り」にこだわっています。

鈴木 2年間の研修で、作業の流れなどについては経験していたので、現在はそれほど大変だとは思っていません。



ば良いと考えています。

——これから新規就農する人へのアドバイスをお願いします。

北館 とにかく動く！とにかく聞く！とにかく学ぶ！この3点だと思います。一緒にがんばりましょう！

鈴木 農業は大変なこともあります。一生懸命やっていたら良いことや楽しいことがあります。一緒にがんばりましょう。

◇気軽に相談ください

新規就農に関する相談や悩みなどがある場合は、農林課に相談ください。農業技術指導員による園芸作物の指導・相談対応も行っています。

岡 農林課（☎42・2111）

